

作成日：2003/12/17

改訂日：2022/04/15

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品の名称： フッソ・プラコート スプレー NET. 210g  
品番： FC-115  
会社名： ファインケミカルジャパン株式会社  
住所： 東京都江東区福住 1-15-3  
電話番号： 03-3643-8877  
FAX番号： 03-3643-8890  
推奨用途及び使用上の制限： プラスチック用耐溶剤性の汚れ付着防止剤、業務用

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性： エアゾール 区分3  
健康に対する有害性： 区分外か分類対象外もしくは分類できない。  
環境に対する有害性： 水生環境有害性・急性 区分3  
水生環境有害性・慢性 区分3

#### ラベル要素

絵表示又はシンボル： ---  
注意喚起語： 警告  
危険有害性情報： 高压容器：熱すると破裂のおそれ  
長期継続的影響によって水生生物に有害

### 3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区別： 混合物

成分名	重量%	CAS No.	備考
4, 5-DIFLUORO-2, 2-BIS (TRIFLUOROMETHYL) -1, 3-DIOXOLE, POLYMER WITH TETRAFLUOROETHYLENE	0. 1	37626-13-4	
1, 1, 1, 2, 3, 4, 4, 5, 5-DECAFLUOROPENTANE (HFC-43-10mee)	85. 6	138495-42-8	
PERFLUOROCARBON	9. 5	86508-42-1	
炭酸ガス	4. 8	124-38-9	
合計	100. 0		

### 4. 応急措置

---

### 5. 火災時の措置

消火剤： 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。  
使ってはならない消火剤： 通常の状況下では不適切な消火剤はないと考えられる。  
特有の危険有害性： 炎により分解生成した有毒ガスを吸入しないように注意する。  
容器は高温で破裂する恐れがあるので、消火活動には距離を十分にとること。

### 6. 漏出時の措置

作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。  
付近の火気を止める。  
付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。  
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。  
河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

**7. 取扱い及び保管上の注意**

取扱い：	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 使用後を含め、燃やしたりしないこと。 環境への放出を避けること
保管：	日光の直射を避ける。 風通しの良いところに保管する。 火気、熱源から遠ざけて保管する。 40℃以上のところで保管しないこと。 水回りや湿度の高いところに保管すると、容器腐食して破裂の恐れがあるので保管場所に注意すること。

**8. ばく露防止及び保護措置**

管理濃度：	設定されていない。
許容濃度：	設定されていない。
設備対策：	換気を行う。
保護具：	
呼吸器の保護具：	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具：	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具：	適切な保護めがねを着用すること。
皮膚及び身体の保護具：	適切な保護衣を着用すること。
衛生対策：	取扱い後はよく手を洗うこと。

**9. 物理的及び化学的性質**

外観等：	無色透明液体
臭気：	なし
沸点：	55℃(参考値)
引火点：	なし
発火点：	なし
蒸気圧：	0.6 MPa (25℃)
密度（比重）：	1.58 (20℃)

**10. 安定性及び反応性**

安定性：	通常の実取扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性：	特になし。
避けるべき条件：	裸火、高温表面との接触。
混触危険物質：	強アルカリ、アルカリ金属、アルカリ土類金属、粉末アルミニウム、粉末亜鉛、溶融苛性。
危険有害な分解生成物：	高温で熱分解すると有害なフッ化水素、フッ化カルボニル等を発生する可能性がある。

**11. 有害性情報**

有害性を示すデータはない。

**12. 環境影響情報**

水生環境有害性・急性	混合物として区分3とした。
水生環境有害性・慢性	混合物として区分3とした。

**13. 廃棄上の注意**

捨てるときは使い切ってから、火気のない戸外で噴射音が消えるまでタンを押し、ガスを完全に抜いてから各自治体の法令にしたがって廃棄すること。

**14. 輸送上の注意**

国際規則	
国連番号：	UN1950
国連名：	AEROSOLS, NON-FLAMMABLE, NON-TOXIC

国連分類：	CLASS 2.2
容器等級：	*エアゾール製品は容器等級が定められていない。
国内規則	
陸上規制情報	消防法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規則情報	航空法の規定に従う。
特別の安全対策	取扱い及び保管上の注意事項に従うこと。 容器からの漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行うこと。容器を40℃以下に保ち、転倒、落下、損傷がないように注意すること。

#### 15. 適用法令

労働安全衛生法：	該当しない
P R T R法：	該当しない
消防法：	該当しない
船舶安全法：	(船舶による危険物の運送基準等を定める告示) エアゾール(容量1L未満) 高圧ガス、非引火性非毒性高圧ガス
航空法：	(航空機による爆発物等の輸送基準等を定める告示) エアゾール(非引火性かつ非毒性のもの)

#### 16. その他の情報 特になし

##### 記載内容の取扱い：

すべての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、一般的な取扱いを対象としていますので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いいたします。

##### 改訂履歴

2010/09/24	JIS Z 7250:2005 の書式に改定、および最新の情報による表記内容の見直し。
2015/10/28	JIS Z 7253:2012 の書式に改訂および最新の情報による表記内容の見直し。
2016/11/30	最新の情報による内容の見直し。
2022/04/15	JIS Z 7253:2019 の書式に改訂および最新の情報による表記内容の見直し。